



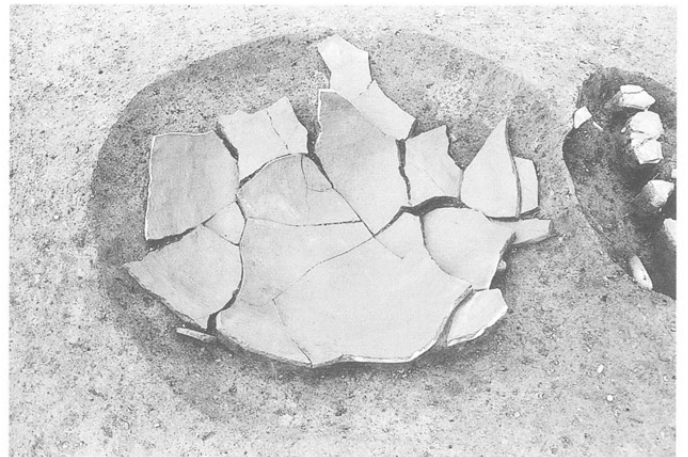
第5号掘立柱建物址 全景(南から)



第8号掘立柱建物址 全景(西から)



土坑1406 遺物出土状況



土坑1410 遺物出土状況



第54号住居址 遺物出土状況



第62号住居址 遺物出土状況



第63号住居址 遺物出土状況



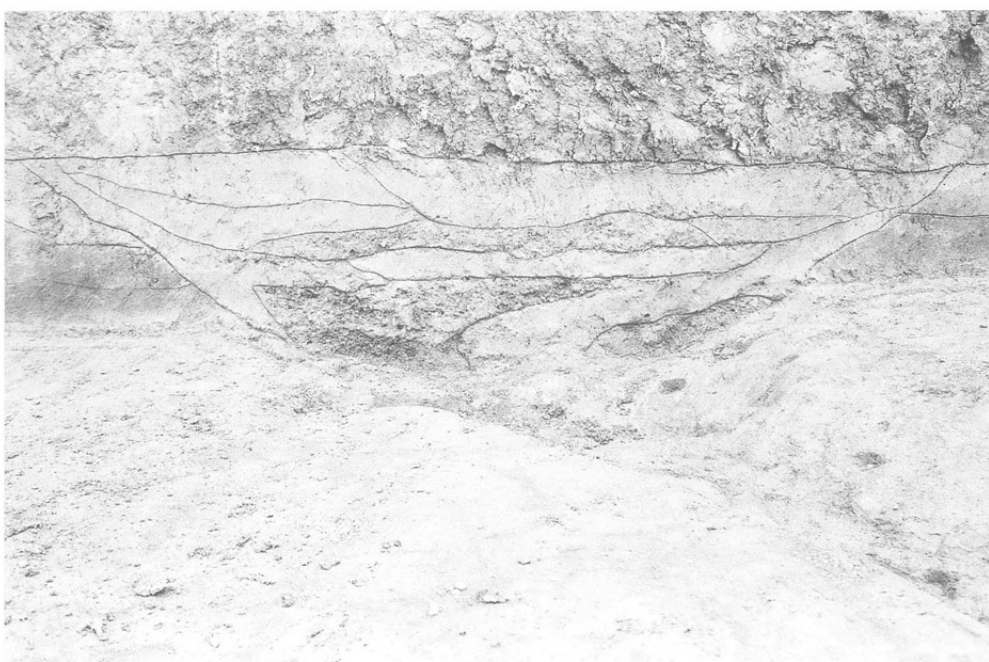
第96号住居址 遺物出土状況



上左：溝11 北半部(南から)
上中：同上 南半部(北から)
上右：溝13 全景(東から)



溝11 遺物出土状況



溝13 土層堆積状況
(調査区西壁・東から)



溝17 全景(北から)



溝23・22 全景(北から)



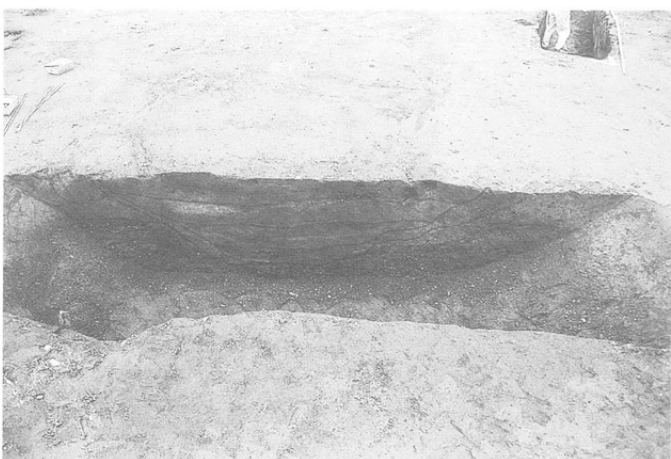
溝18・ピット列18 (西から)



溝24 全景(東から)



溝20 (39) 南部(南から)



溝28 土層堆積状況(C-C'・南から)



溝28 土層堆積状況(D-D'・南から)



4B区東半部遺構分布状況(溝28・33・34・39 他、南から)



4B区遺構分布状況(溝28・33・34・39 他、東から)



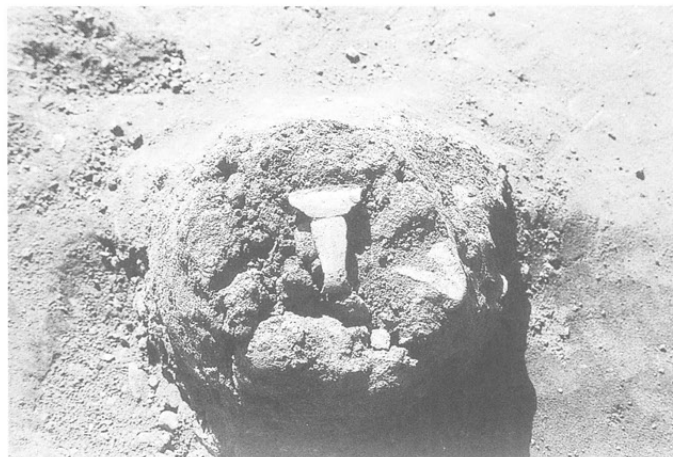
4B区南半部遺構分布状況(中世土坑墓群、東から)



4B区遺構分布状況(中世土坑墓群、南西から)



土坑3345 全景(東から)



土坑2931 銅製品出土状況



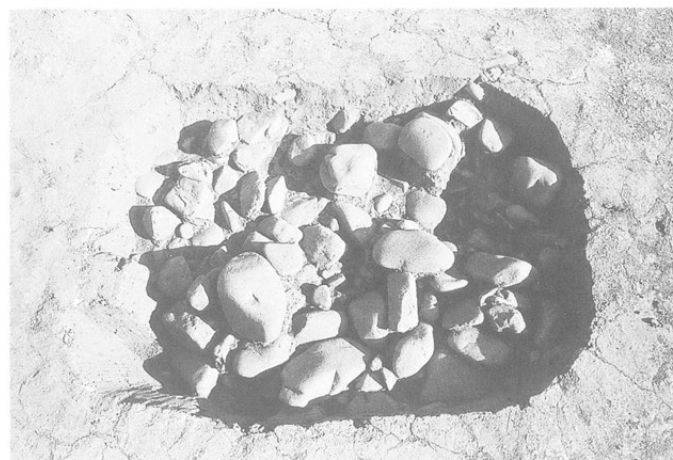
土坑3046 (火葬墓)



土坑2707



土坑3586



土坑3664



土坑3673



土坑4026



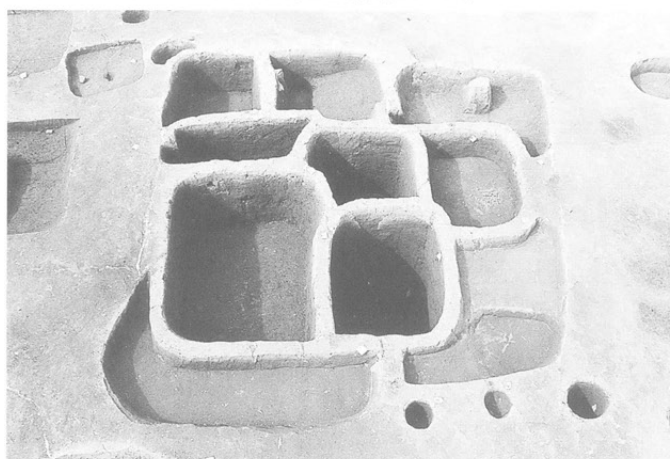
土坑2336他4B区北部土坑墓群(南から)



土坑2538 他4B区西部土坑墓群(北から)



土坑2619 他4B区西部土坑墓群(北から)



土坑4017 他4B区北部土坑墓群(南から)



土坑3277 他4B区中部土坑墓群(西から)



土坑3568 他4B区西部土坑墓群(東から)



土坑3612他4B区南部土坑墓群(南から)



土坑3876 他4B区南東部土坑墓群(東から)



墨書「瓦」(112)



同左(114)



墨書「中」(83)



同左「子」(829)



土師器杯内面の煤付着状況(839)



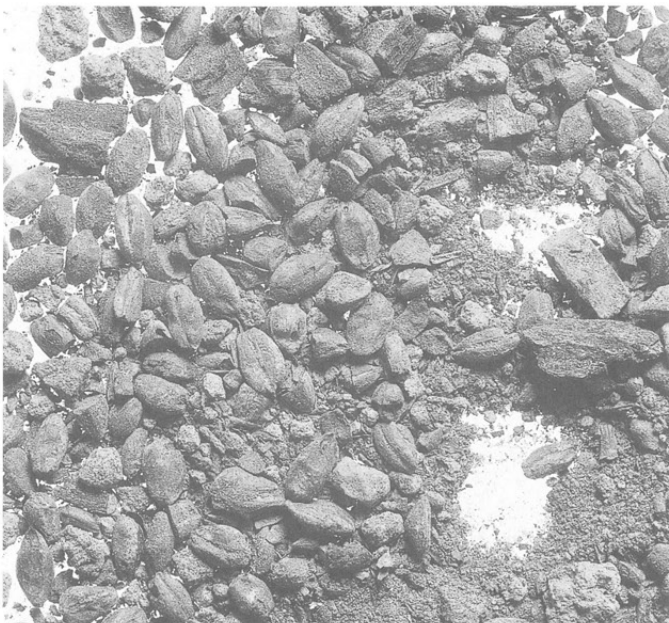
灰釉陶器碗口縁部内面の煤付着状況(1222)



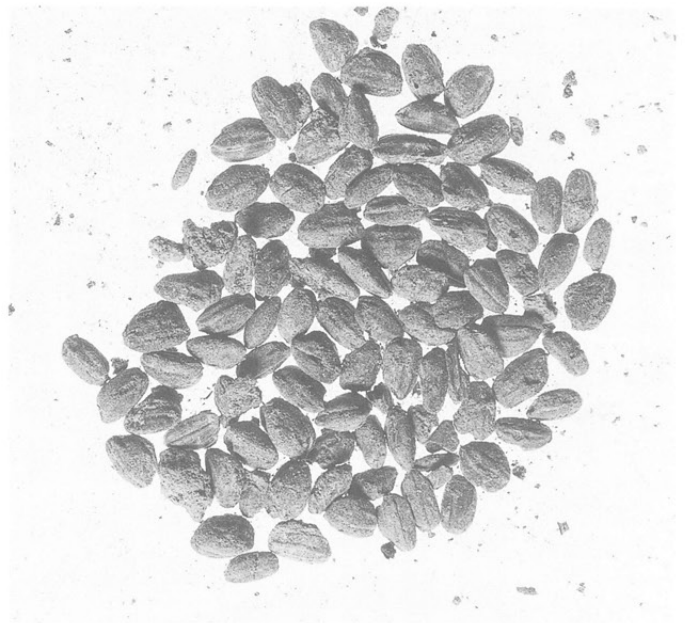
土坑3345出土炭化種子 クルミ



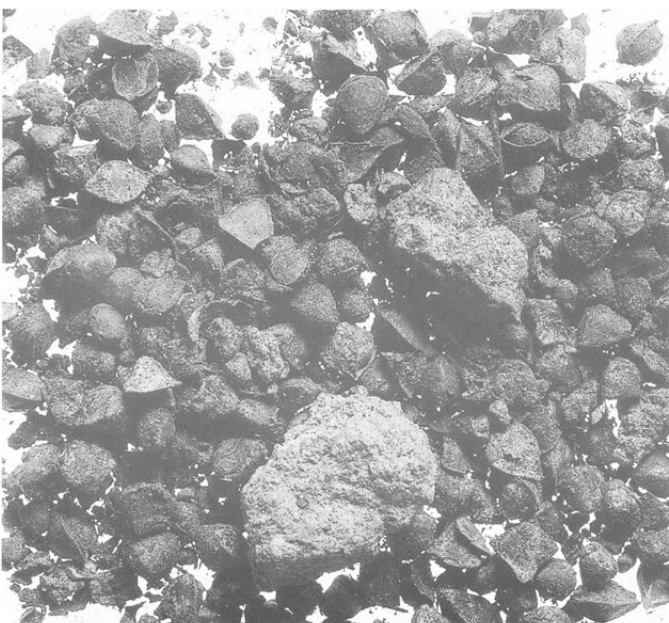
同左 モモ



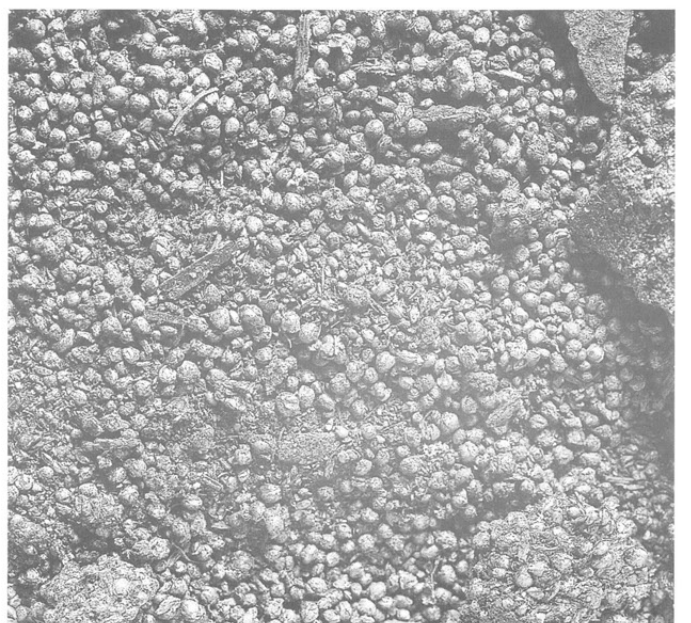
土坑3345出土炭化種子 オオムギ



同左 モミ



土坑3345出土炭化種子 ソバ



同左 アワ

報告書抄録

ふりがな	ながのけんまつもとしかわにしかいでんいせき3・4 まつもとししんりんくうさんぎょうだんちぞうせいにともなうきんきゅうはくつちょうさほうこくしょ							
書名	長野県松本市川西開田遺跡Ⅲ・Ⅳ 松本市新臨空産業団地造成に伴う緊急発掘調査報告書							
副書名								
巻次								
シリーズ名	松本市文化財調査報告							
シリーズ番号	No.162							
編著者名	太田圭郁、竹内靖長、竹原 学							
編集機関	松本市教育委員会							
所在地	〒390-0873 松本市丸の内3番7号 TEL0263-34-3000(代) (記録・資料保管：松本市立考古博物館 松本市中山3738番地1 TEL0263-86-4710)							
発行年月日	2002(平成14)年3月24日(平成13年度)							
ふりがな	ふりがな	コード	遺跡番号	北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
所収遺跡名	所在地	市町村						
川西開田遺跡	ながのけん 長野県 まつもとし 松本市 かわにし 川西開田遺跡 かんにやし 神林 あざたけだのみち 字竹田道 6172-1他	20202	313	137度 54分 10秒	36度 10分 52秒	3A次： 19980420～19980605 3C次： 19980905～19990106 4B次： 20000620～20001004	38,200㎡	松本市新臨空産業団地造成事業
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構		主な遺物		特記事項	
川西開田遺跡	集落跡	縄文 弥生 平安 中世	弥生：土坑 平安：竪穴住居址79、 土坑316、掘建柱建物 址15、ピット列17、 ピット1422、溝18 中世：土坑1763、ピッ ト572		縄文：石器 弥生：土器、石器 平安：土器・陶磁器(土師器・須恵器・ 灰釉陶器・緑釉陶器)、鉄器(刀子・ 鋤先・釘・鏝)、銅製品(飾金具・銅板・ 金銅製品)、石製品・石器(巡方・砥 石・礫石錘)、鉄滓、獣骨、炭化材 中世：土器・陶磁器(土師質土器・ 瀬戸美濃系陶器・青磁・白磁・青 白磁・内耳土器)、鉄器(釘)、銅製 品(銭貨・刀装具)、石器(砥石・石 臼)、木製品(漆椀)、骨、炭化材、 炭化種子		9世紀中葉に出現し、11世紀に廃絶した平安時代の 大集落を調査した。その構 造は導水目的を伴った区 画溝と大型住居を中心とし た集落構造、特殊遺物の大 量保有等、際立った特徴を 有していた。その後12世紀 末～16世紀初頭にかけて、 大規模な墓域が形成された ことが判明した。	

松本市文化財調査報告 No.162
長野県松本市

川西開田遺跡Ⅲ・Ⅳ

—松本市新臨空産業団地造成に伴う緊急発掘調査報告書—
古代・中世編

発行日 平成14年3月24日

発行者 松本市教育委員会
〒390-0873

長野県松本市丸の内3番7号

印刷 精美堂印刷株式会社
